京城日報
朝刊
本日朝夕刊共八頁

最小にして最大な生活限度確保を期す

生活必需物資動員計畫成る

【東京電話】戰時下國民生活の安定をはかり國民生活必需物資の需給計畫を確立することが絶對の要件であり、政府は去る四月廿四日昭和十七年度物資動員計畫の策定實施に際しこの點を特に強調し、本年度物動計畫の重大特色として生活必需物資について別箇の需給計畫を策定すべきことを公約したが、その後企畫院が中心となり關係各省と協議の結果生活必需物資動員計畫が調整されたので、二十六日の閣議席上鈴木企畫院總裁より原案を説明その通り決定、午後零時半企畫院總裁談をもつてこれが内容を公表した、本年度において生活必需物資と規定されたものは米、麥、大豆、芋、野菜、魚介類、肉類、食用油脂、鹽、味噌、醤油、砂糖、牛乳、卵などであり、家庭燃料としては木炭、玉炭、煉炭、衣料としては纖維製品などの十數品目でこれら重要生活必需物資の供給を確保するため、先づもつて所要生産資材を物動計畫中より獲得するとともにさらに消費に充當するため集貨、輸送、配給などにつきその公正適正を期し品質、規格などに至るまでこれが適正化をはかることが生活必需物資動員計畫の直接的使命である、本計畫において一、米、麥、大豆、鹽の需給計畫に最大の重要點が置かれたこと、二、味噌、醤油、煉粉乳、纖維製品が物動として取扱はれてゐること、三、蔬菜、魚介類、牛乳などについては、特に大都市を中心とする主要消費地に對してその集貨、輸送、配給に關し特別の措置を講じたことの三點に重大な特色が認められ清新簡素な戰時生活を維持遂行せんとする國民の決意に應へて政府が國家計畫の上から最小にしてかつ最大な生活限度の確保に萬遺憾なき措置を下したものといふべく國家計畫遂行に一時期を劃したものとして重視される

「戰時國民生活安定計畫の効果極めて大」

企畫院總裁談

【東京電話】政府は本年度生活必需物資動員計畫について廿六日午後零時半左の如き企畫院總裁談を發表した【寫眞＝鈴木企畫院總裁】

戰時國民生活の安定をはかり國民活動力の強化を期するため、日常生活に密接不離の關聯にある重要生活必需物資につきこれが周到なる需給の計畫化とその圓滑なる實行をはかるを緊要と認め政府においては從來これが遂行をなし來つたが、今回本年度の生活必需物資の綜合計畫を策定し本日閣議でこれを決定した、本年度における生活必需物資動員計畫は米穀、麥類、芋類、野菜、魚介類、肉類、食用油脂、食料鹽、味噌、牛乳などの食料品、木炭など家庭燃料及び衣料など重要生活必需物資につき立案し左の諸點につき特別の考慮を加へたのである

一、物資動員計畫に照應せしめたこと

二、米穀など重要食糧につき詳細の計畫を設定しこれが確保を期したこと

三、蔬菜、魚介類、牛乳などについては生産集荷、配給の實情に即し主要消費地に對する需給を考慮し計畫をなしたこと

而して本計畫を實施するうへにおいてこれが萬全を期するためには、もちろん所要資材の確保をはかるはもちろん集荷配給につきその公正的確を期し、また品質規格などの適正をはかるなど各般の施設工夫が必要なることは當然のことであり政府としては鋭意努力致したき考へである、特に國民生活必需物資の供給確保については陸海軍の多大なる協力を得て來てゐる次第であつて本計畫の樹立および實施によつて生活必需物資の需給に綜合的なる目標が定まり戰時國民生活の安定を確保するうへにおいて極めて大なる効果を期し得ると存ずる

しかしながらいふまでもなく現在は大戰爭を勝ち拔く爲には國民として益々質實剛健にして清新簡素なる戰時生活を營むべきであつて、この點に關し國民各位は大東亞戰爭の完遂と大東亞の建設といふ大業を翼賛し奉る

陵川を占領

蔣系軍最大據點潰ゆ　山西戰線

【山西省南部大行山脈○○二十六日同盟】山西省内の蔣系軍最大の據點陵川目指して突進せる小久保部隊は二十五日午後二時遂に陵川縣城に突入同地を占領して感激の日章旗を翻した、またこれに呼應して鐵脚原部隊も同日夕刻陵川東北十キロの二十七軍敵司令部所在地安洋村を奪取し同地周邊で約五百の敵を殲滅引つゞき掃蕩戰を續行中である

社説　新朝鮮の向ふべき道

一

着任以來、論告或は談話をもつて統治の大綱を示し來つた小磯總督は、臨時道知事會議の訓示に於ていよいよその施政方針の全貌を明示した。この訓示は次の諸點に於て特に注目に値するものがある。一、從來の型を破つて別に綱領を掲げざる事。二、國體明徴を特に強調力説せる事。三、諸般の方針が一々具體的にして現實に即せる事。四、內容簡潔にして措辭頗る勁烈を極むる事。以上四點は小磯統治の將來を特色づけ、南前總督の方針を踏襲すとはいへ半島の人心自ら新たならざるを得ない。殊に急慢なる官吏と國體觀念の缺如する民衆に對して秋霜烈日の態度を示したる點は正に一喝警醒の感がある

二

總督はたゞ統治の一般方針はその大本が明瞭に昭示せられた通りであつて、總督の更迭によつてその大本は聊かたりとも變改を來すべきものでなしとなし、政綱としての項目を羅列することをせず、從來歴代總督によつて掲げられたる政綱政策を時勢と民度とに適應して、專らこれが充實擴延を圖り、特にその實行に移すべきことを確言してゐるが、これ即ち小磯總督が就任以來屢言せる『形式より內容』を裏打ちするものであり小磯統治の性格が名より實を採る一線に沿つて運營せらるべきことを示したものとして注意すべきであらう。

三

總督は施政の眼目理念といふべき國體本義の透徹についてこの訓示中特に鑒を大にして強調してゐる。即ち皇運扶翼の道は教育勅語の冒頭に明示されたる『皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ德ヲ樹ツルコト深厚ナリ』との聖言に基き、國體の本義に透徹することによつてのみ認識把握さるべきものであると說き、八紘一宇の理念に基く大東亞戰爭とその建設の完遂は一にこの國體本義に透徹せる精神力の調整歸一にあると斷じてゐる。而して總督は『半島における施政一切の根基をこゝに置き、官民一致協力を俟つて道義朝鮮を不拔に建設し、更に爲し得べくば、皇國日本の一環中、國體の本義を基調とする道義地域は朝鮮を以てその隨一たらしめんとす』と道義朝鮮の建設を特に強調要請してゐるところは全く我等の感銘共感を深くするところである。

四

而して又總督は吏道の刷新を說き訓し、指導者としての官公吏の地位は內地に比し朝鮮が高きが故に、上意下達に當つては強權の濫用を戒め、一般民情の動向を無視するが如き形式に走るのを訓し、一切『明哲保身の如き觸覺』に立つて指導すべきことを敢へてゐる。又官僚の亂權獨善主義を排撃し、下意上通に當つては下僚の上司に對する進言主張が眞であり、是である場合は毫も遠慮すべきでなきことを說いてゐるが、官界新體制の強く要請せられるこの秋總督のこの上下一體の官吏體制論は當然のことながら吏僚の大いに留意すべき點であらう

五

總督は更に產業經濟施策の全般に亘つて詳細なる訓示を行つてゐるが、就中食糧の增產と確保について、產業統計の不正確を指摘して、現行食糧配給制度の缺陷を率直に衝いてゐるのは今後の食糧確保の上に頂門の一針を與へるものといふべきである。更に又農村の再編成、工業、鑛業、電力、運輸交通通信貿易の各般にわたり細心なる注意を喚へ、なほ又產業經濟の統制については所謂統制のための統制を強く戒めてゐる。何れも北居南面の態勢下にある帝國の一環としての朝鮮の重要性を適切、明確に指示したものであり、最後に徴兵制度の實施を前にして、朝鮮同胞の皇民化を強く希求して、朝鮮統治の大任に粉骨碎心邁進すべき大決意を表明し、こゝに朝鮮二千萬同胞として力強く頼母しき限りであつて、我等又この總督の施政方針に翕然統治翼賛の實をあぐべきことを誓はねばならぬ。

ダッチハーバー避難民　水兵らとシャトル着

【ベルリン二十五日同盟】ダーエヌベー通信ストックホルム電によれば、ダッチハーバーよりの避難民および水兵は二十五日シャトルに到着した

濠艦隊司令長官更迭

【リスボン二十五日同盟】メルボルン來電によれば、濠洲政府は今回濠洲艦隊司令長官海軍少將ブリーストを罷免し、その後任に海軍少將クエッチレーを任命した旨二十五日發表した

香港の政治的重要性

磯谷總督闡明

【香港廿六日同盟】香港占領地區總督磯谷廉介中將は、廿五日新聞記者團と會見、香港占領地復興の現狀と政治的重要性を闡明した、要旨左の通り

香港の物資輸入狀態について懸念はない、物資の獲得は內地の物動計畫と結びつけてこれを行ふのであるが、食糧品や燃料は香港として充分な數量をすでに獲得してゐる、これ以外に內地の物動とは別に南支および南洋より香港自身の戰時物資を獲得することは自由で、これについてもすでに實行してゐる、南支南洋に比類なき港灣設備をもつ香港の繁榮と復興はそれ自身としても重要であるが、その政治的重要性はさらに大である、すなはち支那事變の解決は重慶政權の如きを相手の工作では駄目であつて民衆の間に和平反共の運動を起さしめることによらねばならぬ、これは同時に南京國民政府を強化せしめる結果となる、しかしてかかる國民運動の地盤として西南五省はもつとも適當としてゐる、香港は西南に對する和平反共の機運を注入すべき場所である、この目的のために香港の軍政を役立

重慶抗戰勢力の擊滅

更に無限に擴大强化

【南支前線基地○○廿六日同盟】わが空軍は廿四日東支那最後の敵空軍基地麗水を手中に收め、さきの衢州、玉山攻略と相俟つてわが本土ならびに中支占領地區に對する聯合國殘餘の空のゲリラ戰據點は悉く潰滅されるに至つたが、中支軍では廿六日右に關し左の當局談を發表した

支軍當局談（廿六日午前十一時）

今次第三戰區中樞に對する潰滅作戰は單に東南支那における重慶軍勢力の潰滅を意味するのみならず、支那大陸における米英第二戰線結成のため唯一最後の據點潰滅の重大性を有する、すなはち、一昨二十四日軍は浙江省南部の軍事要衝たる麗水城および同地飛行場を完全に攻略したが、これにより東南支那における米蔣合作の航空基地は悉く潰滅し、いまや米支空軍合作の企圖はほとんど完全に水泡に歸したと斷言し得るのである。米英はさきに卑劣にも重慶が進んでわが本土空襲の野望を企てるや、浙東地區飛行基地使用に關する野望的弄策をめぐらし爾來數年營々重なる民衆の勞働力を搾取し、航空諸員會空軍第十三總站を設置し、玉山に空軍第……以來特にこれが完備を急ぎ大略完成の域に達してゐたのである、しかるに今次わが軍の作戰は浙東における三大空軍進攻基地たるを誇る衢州、玉山、上饒など浙贛の要衝は敵軍主力はいまや潰滅に瀕し、僅かに……また麗水の攻略とゝもに三大空軍基地建設の……り徒らに絶對優勢のわが軍のためその尨大な……かくて米英に國を賣りつゝ抗戰を繼續する……支における重慶抗戰勢力擊滅の鋒はさらに……三戰區崩潰の目的完遂に一路邁進を期してゐる

興南錬成所（假稱）創設

內閣直屬の南方要員錬成機關

【東京電話】大東亞建設戰に挺身し參加する南方派遣要員の錬成については從來過渡的に官民各方面において各種の施設が存在したが、南方開發の國家的要請はこれを各……

一、八紘爲宇の……を許さず……
二、南方……

[illegible]

臨時道知事會議

午後再開の分

食糧事情と地方民心の動向

各道知事から管內狀況

廿六日の臨時道知事會議は午前中總督訓示、高橋軍參謀長講演を以て五分間休憩、再開して高京畿道知事を筆頭に當該道の管內狀況報告に入り正午休憩、午後一時再開同五時までそれぐ狀況報告を續行した、報告された管內狀況の骨子は主として食糧事情および地方民心の動向に關するものであつたが報告內容中特色のあるものとしては

△山木黃海　基督教徒の著しい思想改善について

△白石平北　初等教育振興熱が旺盛である、そのほか多獅島築港の進捗情況について

△柳生江原　運輸交通に惠まれぬ道の産業開發について

△瀨戶咸南　吏道刷新について

△大野咸北　對ソ國境道としての特異性について、そのほか自衞團の活動狀況、羅津港を中心とする經濟地帶の設定、目下創設中の總力戰道場、北鮮科學館などであつた、報告を終つて田中總監より別項の通り就任挨拶があり、西廣……一時間廿五……長した小磯……を終了し……

常任坐臥即ち戰場

謙虛、民衆に接せよ

總監挨拶

◇……半島統治の方針は總督閣下着任以來の諭告、聲明または只今の御訓示によつて、その意圖する所は大體御了解得たことゝ思ふ、自分たちは下僚としてお互ひに氣合を合せてゆく上に於て特に次の二點を強調したい

◇……その一は今日の食糧事情の報告を聞いても判る通りまことに切々胸をうつものがある、それは民衆が忍苦して默々と職域に奉公してゐる姿に他ならない

[illegible]

全國の食糧事情調査

貴院、特別調査員を派遣

【東京電話】貴族院調査會では聖戰下における食糧對策の樹立に關し各派より約十五名の特別調査員を選び全國各地方の事情調査を遂げたるうへ政府の增產對策に呼應すべき諸般の考究を進めることに決定した、特別調査員は一兩日中に詮衡を終り全國の實情調査ならびに視察のため七月上旬を期して一齊に出張することになつたが、同時に各地方在住の多額議員はじめ、各議員に對しては特別調查員と同樣の資格において今回の計畫に對する協力方を委囑する方針である

家族手當增額支給の財源

一部を第二豫備から支出

【東京電話】政府は俸給生活者の生活安定と人口政策の見地からさきに官吏などに對し家族手當の增額と支給範圍の擴張を決定し地方費支辨の官吏および公吏などに對しても支給額範圍などを官吏同樣とし本年四月分に遡つて支給することに決定、可及的速に實施することゝなつたが、これが財源としてその所要額二千三百八十一萬餘圓に對し國庫補助金百六十六萬圓を第二豫備金より支出することに二十六日の閣議で決定した、しかして國庫補助金は地方公共團體の財政の狀況に應じて適當な標準で交付されるはずである、なほ國庫補助金などの交付を差引いた殘額で地方公共團體の純負擔となるべきものおよび國民學校および青年學校の職員に對する國庫補助金以外の地方費負擔については本年度配布税の增額その他地方税の增收などによつて處分し得るやう萬全の考慮が拂はれてゐる

情報局發表

[illegible]

日本軍と獨伊軍　完全連絡近し

ガイダ氏評

【ローマ廿五日同盟】樞軸軍がエジプト國境を突破してシディ・バラニの要衝を占領したことは、日本軍の印度制壓と相俟ち、東西よりする日本軍と獨伊軍の握手が近いことを示すものとして重視されてゐるが、右に關してジョルナーレ・デ・イタリー紙主筆ガイダ氏は廿五日の紙上で次の通り述べてゐる

ボンベイ附近で英船舶三隻が撃沈されたことは、日本軍と獨軍の直接提携が今後ますく擴大されることを示すものである、英國の補給線はエジプト、パレスチナ、濠洲方面への軍需物資補給に地中海を航行し得なくなり、また印度洋では日本潜水艦の攻擊に惱まされねばならなくなつた、今や日本海軍はアラビア海をはじめコロンボから遠くアデンに到る廣大な海面を支配するに至つたのである、英國が戰々兢々たる所以もここにある

マルサマトルーに大激戰

獨伊軍　埃及領を猛進擊

【リスボン廿三日同盟】米國爆撃報によれば、エジプト領を猛進擊中の獨伊聯合軍は、十六日早くもリビア國境線から百六十キロの地點に達し目下マルサマトルー西方五十キロの線において激戰展開中といはれる

【チューリッヒ特電】（廿六日發）カイロ來電によれば、六日に至り果然大激戰が開始された、樞軸軍はエジプト戰線の天王山マルサマトルー地區に全勢力を賭け戰車、裝甲車、重砲等あらゆる近代兵器の威力をあげて猛烈無比の猛攻を開始、イギリス軍も必死の防衞に努めつゝあるが、カイロでは情勢が極度に重大化しつゝあると指摘してゐる

米哨戒艇二隻沈沒

【ビシー廿五日同盟】アバス通信ワシントン來電によれば、アメリカ海軍省は六月中にアメリカ哨戒艇二隻が太平洋で日本潜水艦の攻擊をうけ沈沒した旨廿五日發表した

英、勞働力徵用範圍を擴大

【リスボン二十五日同盟】ロイター通信ロンドン電によれば、イギリス政府は二十二日イギリス國內の勞働力徵用の範圍を擴大して五十歲までの男子、四十五歲までの女子は登錄を要する旨發表した

農林辭令（廿五日附）

【東京電話】農林書記官　久保吉造
兼任農林大臣秘書官（三）

大藏辭令（廿五日附）

興亞院調查官　新敏雄
兼任大藏書記官（三等）

總督府辭令（廿四日附）

城大書記兼濟生院主事　吉田泰依願免兼官▲（遞信）道書記加藤誠依願免本官

辭令（廿五日附）

【東京電話】▲朝鮮總督府技師兼水產製品檢查所技師加藤與、兼任朝鮮總督府水產試驗所技師（三）▲朝鮮總督府水產試驗所技師藤陽三兼任朝鮮總督府技師（四）▲朝鮮總督府道技師……高等官三等

熱そのもの、九時間
曾つてなき『家族會議』

國體の本義を眞つ向から振り翳す小磯總督が着任後初めて開く知事會議―始まつたのが朝の八時半で終つたのが夕方の五時半、實に九時間、この間に午前中の五分休憩、晝食の一時間を差引いても尚且つ八時間といふ驚くべき長時間知事會議だつた、知事諸公の中には若く行けば會議は午後二時頃には片附かうと多寡をくゝつてゐた連中もあつたらうが、會議は豫想をすつかり裏切つて三時、四時になつても會場第一會議室の扉は開かうともしない、それだけに會議の

内容 は眞劍そのものだつたといつてよい『不肖この度圖らずも……』から始まつて國體の本義から吏道の刷新と四大綱領を酒々と明示する總督の訓示が一時間半の長きに及んだ、集つた知事公が眉一つ動かさず聽き耳立てる緊張振りは今までの知事會議にも曾つてみられなかつたことだ

午前中は知事からの管内狀況が二つあつただけで一先づ晝食となる、ホツトした知事達が倚らぬ國民服の襟を外して一息をついたのが正午、緊張し過ぎたせゐか腹も空いたとみえてハムサラダに皿飯一といふ晝食を簡單に平げて一服したところへまた開會のベルが鳴る、午後は午前に引續いて知事からの管内狀況報告が次から次へと行はれる、一人々々の報告時間が大體卅分位になつてゐるがこの間に總督や總監から『いまのところ少し詳しく』と言はれると五分や十分は立ちどころに延べて仕舞ふ

熱心 な報告する知事諸公にも熱が加はつて行く聽く方の總督、總監が眞剣がそろく退屈する四時過ぎになつても會議は終らない、五時やつと最後の管内狀況報告が終ると田中總監から新任の挨拶があり西岡慶南知事の答辭に次いで總督から『一生懸命にやつて貰ひたい』と最後を結ぶ鄭重な挨拶があつてさしも九時間に及ぶ會議が終りを告げたのだつた、かくて會議室からやつと解放された知事達は會議の根本理念國體の本義を胸にしつかりと抱きしめて六時から開かれる總督官邸への招宴へと足を運んだのである

良二千石に聞く心構へ

着席したまゝとはいへ一時間半に及んだ小磯總督の訓示は、正に大訓示の名に背かず列席の各道知事はもとより各局部長課長もその心魂を强く搏つたれたに違ひない、それは言葉ではなく信念そのものが小磯さんの身内から吐き出されたのだ、朗々凛々たる言葉はさしもに廣い第一會議室の隅々にまで緊張を破り沈々たる會議室は神聖なる道場と化したかと思はれた、基地半島は小磯さんを迎へて大東亞共榮圏の强力なる一環として飛躍せんとするの秋、この大訓示を肝に銘じた十三道知事は如何に思ひ歸任後これを如何に道民へ傳へんとするものか―以下偽りない知事の所感である

烈々、國體の本義を道民に叩込まん
"吏道刷新"にも感新た

高京畿知事

小磯總督からお聽きした知事會議の訓示は豫て自分等が考へてゐたことを實によく總括されてゐる點で眞に感激深いものがあつた、特に總督が道義朝鮮を打樹てるといはれたその信念に對して感銘措かないものがある、我々はこの總督の訓示に基づいて目的達成に部下を督勵して邁進して行かなければならんと感ふ、今後道政の運用については總督の意へと同様自分の主[illegible]

平南知事代理

張したいことや行き方を正しく民衆に知らせ醇化して行くことが總督の御期待に副ふ所以であると考へる

瀨戸咸南知事

總督閣下の訓示で道義日本の信義は明瞭に認み得た、歸任したら早速知事と相談の上道民の一人々々に徹底させ民衆と共に銃後の奉公に邁進する覺悟だ

總督の訓示の趣旨を體して我々はこれが具現徹底に二百萬道民を率ゐて邁進すべき信念をいよいよ固く[illegible]

くした、特に吏道の刷新につき眞に鋭く指摘された意見を拜聽して感激深いものがあつた、官吏は須らく陣頭に起つて自己の修養錬成に努力し指導者たるの資格を十分に備へなければならん、この意味で自分は平素から自分の持つてゐる信念に基いて吏道の刷新に全力を捧げたいと思つてゐる

伊藤忠北知事

只今總督閣下から非常に適切な御訓示を拜聽し感激してゐるところです、歸任後は訓示の趣旨を道民全般に透徹させ銃後奉公に一路邁進させる覺悟ですが訓示の趣旨を如何にして道内官民に徹底させるかについては今後全力を傾注して事にあたる決心である

白石平北知事

總督閣下の訓示は要するに道義日本の眞髓を闡明せられたのである、が道民に徹底させるためには普通

西岡慶南知事

國體本義の徹底道義朝鮮の確立を行政の最大重點とされる總督の大訓示は言葉でなく信念そのものを我等の心臓に叩き込んで下さつた、率直に申せば一日も早く郷土に歸つて總督閣下から直接に慶南官民に御訓示願ひたい、私は一の事務的な傳達方法では駄目だと思ふから先づ道の中心幹部にしつかり呑み込ませて然る後に下部に反映、浸透させて行きたいと思つてゐる

松村忠南知事

道義朝鮮を確立せんとの御訓示には非常に感激させられた、形式よりも内容へ、計數の多少よりも實質をとれとの御趣旨は身に沁みた、歸任のうへはこの精神を體して道義忠南の確立に邁進したいは訓示の言葉を傳達出來るがあの迫力のある信念をそのまゝお傳へすることは不可能だらう、今日の訓示はそれほど生々と生きてゐた

高尾慶北知事

職域奉公に挺身せんとの決意を更に堅固たらしめた、道義的理念を

武永全南知事

まことに感謝に堪へない、道民と共に眞の皇民錬成に邁進し總督訓示の御趣旨を顯揚したい[illegible]くし肝に銘じたと申し上げるよりほかない、このうへは歸任早々郡守署長會議を開いて、私の今日のこの氣持を誤りなく傳へたい、そして三百萬道民と共に一層職域に邁進したいと念じてゐる

金村全北知事

道義朝鮮の顯現を力說されたが感銘深いものがあつた今後は道政も

大野咸北知事

崇高な理念に基く大方針を親切に御訓示下さつたので私としては總督閣下の御趣旨を充分理解し得たと思つてゐる、これを地方の實情に即し、微力を傾倒して百三十萬道民の一人殘らずに徹底さす覺悟である

道内の實情に即して行ひ皇民錬成に努め産業經濟を通じて道義全北を樹立し總督訓示を反映せしめるやう挺身あるのみだ

柳生江原知事

新聞などに出てゐたのとけふの總督の訓示とは大體においで同じものだが直接會議席上で話を伺つてみるとその眞劍さ深遠さに胸打たれるものがあり我々の考へにピンと來るものが感ぜられた、道政運用について政策的には從來と變りはないが總督の訓示をそのまゝ間接に一般民衆に傳へるといふことは非常に困難なことだと思ふ、それはやる方の氣持をそのまゝ傳へると動もすれば形だけに陷り易い結果にもなるからこの點は特に注意し、第一線の民衆の意見も十分きいた上で理解させて行くほかないと思ふ

山木黄海知事

新總督として の御方針を明示に御訓示下さつたことを感謝する、今後は總督閣下の統治精神を自道に普及徹底實踐せしめてゆきたい

感激に全身紅潮
ポスト君應召

『永い間お世話になりましたが鐵材回收の緊要な現今、私も愈よ應召されることになりました』と赤い顏のポスト君は感激にます〳〵顏を赤らめて永い馴染の京城府民に出征の辭を述べ近く新人の郵便箱君と街頭で事務引繼を行ふことになつた

私もこれで國家のために生れ變り、憎い米英を叩き潰すかと思へば永いお馴染みの皆さんとも元氣でお別れ出來るといふもんです、今回は京城府内の同僚數百本と仲良く征きますが、いづれ遠からず全鮮から數萬本の仲間も來てくれるさうで全く心强い限りですよ

街頭奉仕廿年の感慨を語り終つてさらに新人を振りかへり

さて私達が出征した後の銃後の郵便物取扱ひには新ポスト君が登場代つて大いにはりきるさうですから皆樣には御迷惑はお掛け致しません、新ポスト君は内部は木製ですがマグネサイトに特殊な塗料を施した厚い衣をまとひ、容貌は私とそつくり、着物まで同色ですから一見した所では私と見違ひます、まだ生れたばかりですが仲々頑强で高熱の熱にもびくともせず、銃後の建設戰には火の中水の中もいと

はない先輩者で私達古參者をしり目に郵便物の差入口にあつたローマ字のポストといふ字を消した日本精神の體得者です、今後は御面倒でも郵便箱と呼んでやつて私同様御引立を願ひます

と先輩らしく落ちついた態度で後繼者の"人爲"いや資質を紹介した

【寫眞＝新舊ポストの事務引繼】

濁流から四十二名
決死！木下警防團員が救出
全鮮で一人 譽の功勞章

【大田電話】大日本警防協會總裁梨本宮殿下におかせられては全國警防團の中特に身命を賭つて警防に一働を盡した警防團員に對し現場功勞章を授與遊ばされたが、二ゝに全鮮警防團員の中たつた一人

この譽れの現場功勞章を授與された人が忠南にゐる、青陽警防團警防團員木下癸仁君で同人は昭和十五年六月警防團員を拜命以來常に最前線に立つて活躍中昨夏六月本道一帶を襲つた豪雨は勢ひ各地の河川を氾濫させ警防團員は必死となつて水防の任に努めてゐたが偶々同月廿日午前十一時ごろ青陽面碧泉里野村洞の部落民四十二名が濁流に呑まれ警察、警防團の救出作業を外に水勢は漸次勢ひを增し四十

二名の生命は早や風前の灯の危機に曝された時木下團員は一身の危險を顧みず敢然濁流に身を躍らせて一筋のロープを唯一の頼りに死鬪する事十四時間その他の團員の協力もあつて一名の負傷者も出さず部落民四十二名を全部救出したものでこれは全く職員の龜鑑となすべきものである、なほこの榮ある表彰傳達式は廿六日午前九時半から青陽市場の廣庭において松村知事臨席の下に擧行した

護らん父祖の地
水魔へ挑む汗の奉仕

忠北の巻

べらく腕建設 3

堤防の長さ三千五百米、淸州の野を眞つ二つに截斷して、えんえんと續く土の堤が築かれて行つた―數年の歴史を通じて數百年は南鮮の同義語だつた、人々は田とともに住み田の中に死んでいつた、無心川は悠久の歴史を秘めて淸州を東から西に流れ、川に沿つて開ける廣野は忠北に住む人の生命だつた、それがその歴史を秘めるかに流れる無心川が、毎年幾度ともなくごう〳〵と怒濤のごとく氾濫した、土と作物と家は一瞬に押し流され、财產と生命はうたかたと消えてしまつた、悲痛の悲劇は毎年々々繰返された、それが穀倉南鮮の偽らない實相だつた

戰爭が起つた、人々は起ち上つた

『土を守れ！』

『俺達の命を護れ！』

二千七百萬石增産の目標目指して農村の生命―沃土を護る大堤防がえん〳〵と伸びて行つた、人夫は殆ど附近の住民、チゲが走り、トロツコが飛び、石工が石を叩きつづけた、祖父傳來の沃野と銃後增産を護りつづけようと、住民たちが戰時なればこそ起ち上つた聖代淋漓の勤勞奉仕だ

忠南の巻

【寫眞＝(上) 無心川上流堤防工事、(下) 國練生の武道】

聖域に己磨く
扶餘に集ふ青年隊長

森嚴、靜謐、至誠奉公―鮮人な内鮮の緣由を感深く秘めて泛々と流れる白馬江のほとりに築かれた國立扶餘中堅青年修練所の道場精神だ、こゝには戰時の半島を背負ひ起つ全鮮各地の青年隊長が、先を爭つて門を叩くのである、古神道青年團の指導要綱、體位擧等青年の組織、生活の規律化の完成は明日その日その日を無爲に徒食し刹那を享樂してゐた無節操に鞭をそゝける日も近い、人格の修養、意志錬士の學位を授與された日の徴兵への飛躍向上をかたく約年訓練を基とした諸戰果に敬禮、武道或は敬虔な祓禊行事等、彼等束するものに外ならない

指紋による南方民族の研究
晋州の池定好氏に醫博

【東京電話】高知縣幡多郡月灘村出身の朝鮮總督府慶南道晋州府水晶町慶南道警察部警部補池定好氏(四七)が『マリアナ群島住民の體質、人類學的研究』と題する論文で二十六日醫學博士の學位を授與された

同氏の研究はわが南方共榮圏の雜多な民族に今後の指針を與へるものとして注目される、從來ミクロネシヤ諸島は小島が廣域に亘り交通不便のため種族の研究は一部に限られて漠然とミクロネシヤ人はマライ種族とパプアおよびポリネシア人との混血なりと想像されてゐたが同氏の研究によりマリアナ群島のチヤモロの男性はインドネシヤ型またカナカの男性はミクロネシヤの東方型に類することが明らかにされた、これはこれまでの學說が主として海流と結びつけた移動經過によつてゐたのに對し指紋によつて民族の系統を調査したものである

遺績を讃へ
更生園葬に總督代理が參列

惠まれない不幸な人々―癩患者の更生に一身を捧げ不幸兇刄に殪れた小鹿島更生園長周防正季氏の園葬は廿九日午前十時から園内運動場で關係者多數參列のもとしめやかに執行されるが、總督府より總督代理として石田厚生局長が參列、故人の遺蹟を讃へ心から冥福を祈る

腰痛にしゃぶ デルモライツ

英靈に告げよ五年の大戰果

支那事變五周年記念の標語

七月一日から同八日まで全國一齊に支那事變五周年記念週間が展開されるが總力聯盟では支那事變の持つ重大な意義を闡明し戰歿將兵への敬虔な感謝の赤誠を捧げ更に大東亞戰完遂の決意をより固くするべく宣傳標語を次の通り制定、これを週間中用ふることになつた

一、日滿華齊ひも固し大東亞

一、英靈に告げよ、五年の大戰果

一、敵は米英、あくまで突込め！

一、米英降參するまでは押して押して押しまくれ！

一、聖戰に十億の民起ちあがる

一、五年が何だ、アジヤの夜明だしつかり頑張れ！

『大きくなつたら兵隊さん』吹込む

【東京電話】軍事保護院選定歌『大きくなつたら兵隊さん』(高橋掬太郎作詩古関裕而作曲)の吹込みは廿六日午後四時からコロンビア本社で行はれた、奥山貞吉氏の指揮、東京音樂學校教授酒井弘氏とコロンビア兒童合唱團の合唱で見事な出來榮であつた、『小國民の歌』と共におそくとも來月上旬には全鮮にお目見得するはず

日豐線不通

【門司電話】豪雨のため不通となつた日豐線重岡、宗太郎間の復舊は、なほ四五日を要する見込みなので門司鐵道局では廿六日からこれが復舊を見るまで門司驛午前九時五十五分發下り一、一〇七列車および鹿兒島驛發午後六時八分上り二〇八列車で復舊箇所を通過する旅客の乘車數の發賣を一部制限する、なほ與驛までは鹿兒島本線の利用を希望してゐる

喝采を博した修善寺物語
アルゼンチンで上演

【東京電話】陰險巧妙なアメリカの策動にも屈せず毅然と中立を嚴守してゐる南米アルゼンチンの動向は世界各國から注目を浴びてゐるが首都ブエノスアイレスで續行されてゐる國際演劇研究會議が初の日本演劇公演として岡本綺堂作『修善寺物語』一を國立劇場デアドルムエンシバルで上演劇場破れるやうな喝采を博し『時節柄特に注目を惹きたる模樣』といふ朗らかなニュースが同地の國際觀光局事務所から電報で廿六日鐵道省にもたらされた、この上演に當つては同事務所の江原鐵が説明、交換などに一切の指導に當つた、同劇團ではこれを機會に今後も日本演劇を上演してわが國劇紹介につとめる

重傷の老婆を救ふ
帝都で半島生徒の善行

【東京電話】半島出身の一商業學校生徒が老婆の重傷をみかねて率先看護の處置をとり關係者一同に深い感銘を與へた善行の一つ……去月二十九日澁谷區幡ヶ谷本町二ノ一九七鍋井川貢一氏妻コウさん(五)が京王電車幡代驛構内で進行中の電車より飛び降りホームに顚落大腿骨を折り重傷を負つた際現場に居合せた帝京商業學校本科五年生龍山文治君(半島出身二〇)はあまりの慘狀に當惑職員の處置に窮してゐた驛員警察官に率先流れる血潮を押へて慰つてゐたコウさんを抱き上げ驛建物の雨戸を外して擔架とし附近の病院に入院せしめて同君はそのまゝ立ち去つたが、關係者一同は同君の行爲に深く感激朝鮮奬學會では二十七日同君を表彰することとなつた

靴をはく人の……惱みは…おふろ屋、水むし、毎日靴用品、靴の中にふりかけて汗の腐臭を防ぐことらへんで　一五十錢

新刊三種
理・醫學博士 田所哲太郎編 多糖質化學(各論) A5判四五四頁・價六・五〇 送・八〇
鑛業法規概要 A5判三七六頁 價三・五〇 送・八〇
山口高商教授 緒方英夫・及チエー・イングロツト共編 英語同音異義語辭典 B6判二七二頁 價二・六〇 送・八〇
京城本町二 丸善 東京日本橋通

第貳期決算公告 昭和十七年三月三十一日現在
株式會社朝鮮野崎商店

尋ね人
一、姓名 森田ツユ(四十二歳)
一、服裝 [illegible]
一、容貌 丸顏、背高く肉太り聊か精神異狀
右御氣附の方は左記へ御知らせ下さい薄謝を呈します
平北郭山驛前 森田慶次郎

移轉御通知
今般都合ニ依リ左記ニ移轉引續キ營業可仕候間此段謹告仕候
移轉先
京城府太平通二丁目一〇(三菱ビル)
三菱商事株式會社京城支店機械係
昭和十七年六月二十七日
京城府鐘路二丁目(永保ビル)
三菱商事株式會社京城支店
三菱ミシン陳列場

實習生募集
朝鮮總督府鑿岩工養成所

咸北吉州産 珪藻土 採堀直賣
販賣所 山本珪藻土鑛業販賣所

滿洲國醫臺灣乙種醫師試驗問題解答集 最近刊
附大陸醫師檢定 各科重要問答集 價拾貳圓

內科・外科・一般外科・肛門科 李鍾鎬外科 醫學博士 李鍾鎬 (入院室完備)

體育錬成道場 松島遊園

日本共立火災 京城支店

公告
內地産硝子製コツプ及ビ家庭用硝子器査定開始ニ就テ
京畿道價格査定委員會硝子容器科

債權者集會特別期日公告
京城地方法院

神經科 城北病院 醫學博士 服部六郎

鼻病
簡單に出來るピノサン療法
統計が示す事實 青少年に多い鼻病
ピノサン 小判屋

京城版

原田警察部長東大門管内を初巡視

原田京畿道警察部長は廿六日午後二時半から東大門署管内を初巡視した

多過ぎる"慰問行事"
回數より實質本位にしませう
きのふ 軍事援護座談會

事變記念週間を前に恩賜財團軍人援護會京城府分會では遺家族傷痍軍人指導強化の徹底を圖り『前線の兵隊さんよ御安心下さい』と呼びかけるため廿六日午後二時から府民館中講堂で軍事援護座談會を開催、古市府尹、千田總務部長田中內務課長、上廻援護係長ら主催者側につき出席者側は湯淺總督府社會課長、野田京畿道社會課長軍司令部平松少佐、京城師團齋藤少佐、兵事部伊藤中尉、京城憲兵隊今野准尉、川井遺族會長のほか各警察署兵事係、町會總代聯合會長聯盟聯合會、傷痍軍人會、愛國婦人會、職業紹介所、京城府內援護關係代表者五十餘名着席、會長古市府尹の開會挨拶についで『遺家族傷痍軍人の慰問及び慰安事業について』ほか十五項目に亙つて協議懇談が遂げられたが、川井遺族會長は起つて

『私共遺族の立場から申上げると昨今は慰問行事が餘りにも多過ぎていさゝか食傷の形であります、勿論有難過ぎる位の話ですが行事の餘り多過ぎることは遺家族としては考へさせられるので、どうか回數を減らして戴きたい。御招待を受ける時は一人でも多くの家族に及ぼして戴きたく、例へば招待券一枚戴いたのではどうにもならぬので是非二枚にして頂いては如何なものでせうか』

と述べ齋藤少佐は

『歸還勇士が家庭に入つて家業復活に際し營業物資の円滑を缺く憾みがあるが、よろしく特別配給について考慮を願ひたい』

今野准尉は『今と反對の場合、夫が出征中企業許可令その他で家業が絶やせぬので損をしながら營業を續ける婦人の話もあるので何とかしてほしい』

等議論百出、古市會長の說明に賑ひ陣中慰問、扶助、慰靈、授産事業、住宅問題等について懇談され銃後援護事業の完璧を期する座談會は同五時閉會した【寫眞＝軍事援護座談會】

白衣の勇士へ花菖蒲を寄贈
李王職から

李王職では今を盛りに咲き誇る昌慶苑の花菖蒲三百束を廿六日龍山陸軍病院に寄贈、各病室に飾らせて白衣の勇士たちを慰めた

優良團員を表彰
本町警防團・記念式典を擧行

きのふ 警防記念日

榮譽ある警防記念日の廿六日午前七時から朝鮮神宮奉贊殿で本町警防團の記念式典を擧行新田團長以下全團員及び本町署幹部、管內特設防護團幹部參列、國民儀禮についで正岡本町署長令旨奉讀、萬歲三唱ののち引續き優良團員の表彰式があり正岡署長の訓示、新田團長の挨拶をもつて意氣揚る記念式典を終つた、表彰者氏名は次の通り

◇特設防護團 ▲朝鮮銀行▲專賣局印刷工場

◇優良團員表彰者 花林儀太郎、白鳥安三郎、淸水淸市、吉田治太郎、德田太彥、靑木亭二、池尻武一郎、木下正春、金本龍信安田作一、西房仟博、山本武二內田芳郎、藤川崇爾、金丸作雄足立江森、岡敬治、泉川壽之助、新井貞之助、深澤敏男、佐藤伊松、金寶男、松原豐彥、大倉琴嗣郞、大熊龍次、吉崎八郎後藤康國、崎原良助、山田初夫北村正、小島倉七、太田米一郎、森本主榮、甲斐明、津田彌吉、平塚榮太郎、北澤幸一、藤井倉一、金澤龍男、文平春光、朴枝承春、村上照實、三輪留次郎寺島泳二、竹中彌一郎、住谷政雄、國本周龍、太田茂八、土居周一、佐藤淸、福田告三郎、穴見平藏、板東文平、桑原三藏安東貢、長野博、小島秀太郎串崎正朝、棚馬久日、桑原富次、公文了吾、佐々木三男、宮城泰鎭、安田光俊、國本辰雄、城野晃、森繁淸次、梶川正士、小松朝平、坂田勒夫、村上勝利、山口三郎

お臺所へも"鷄卵"
適が配給機構整備に乘出す

公定價の改正で最近どうやら姿を現した鷄卵も實際に入手する場合はその殆どが公定價を少し上廻つた闇値であり公定價による正確な取引は全然行はれてゐない、これは小賣販賣業者が手數料を仲介業から餘計にとられるため公定價格で賣る場合は利潤が薄いので勢ひ得意先へ闇値で廻してゐることに起因する

この缺陷を是正するため京畿道では新たに京城鷄卵販賣組合なるものを設立、道農會に集荷された卵を一先づこの組合に渡し本組合を通じて軍、食料品小賣販賣組合、菓子工業組合、料理屋、飲食店、食堂、旅館、下宿大口消費者、病院へそれぞれ分配することゝし、小賣販賣組合には手數料とも一貫匁につき七円で從來より廿錢安、その他の中間販賣業者には手數料とも六円八十錢で販賣する

またこれと同時に今後鷄卵販賣組合に集荷された鷄卵は軍、病院などに優先配給したのち、その殘餘の八割は小賣販賣人に配給し公定價の嚴守を行はせる一方、一般家庭への配給を潤澤ならしめることに配給機構を整備、近く實施することになつた

なほ今後は京城鷄卵販賣組合の手を通じない卵は販賣を禁止することになつてゐる

語尾の"シ"を敬遠
舞鶴高女の第八回國語常會

お河童頭を振り立てゝ世に流布する少女達の惡方言國語に倫理を發見して昨年十一月から試みられて語常會は回を重ねる毎にその効果をもたらして最近俄に教育界注目の的となつたが廿五日午後一時から開かれたその第八回國語常會に際しては京城府內各公私立女學校長をはじめ遠く水原、開城、仁川各公私立女學校からも校長以下總勢八十餘名が見學してつぶさに常會の模樣を傾聽、今後の半島國語常用化の具體的な指導最高方針決定のための貴重な研究資料としてその對照に選ばれることとなつた

常會は例によつて同校最高學年生の一人によつて司會が行はれ五名の速記學生を配して以下四百五十名の生徒が講堂に集まつて一ケ月間に互ひに拾ひ集めた惡い言葉を報告し合つてそれを矯正し『正しい國語を正しく使ひませう』に重點を置いて進んだのであつたがこの言葉の中でも殊に方言によつて生れた下品な慣用語を深く警戒し半島の皇國民化は全く正しき國語より出發してこそ內鮮融和の基を早めるものであるとの信念に光りを求め『スゴイシ』『ナマイキダシ』の語尾に『シ』を用ひる內地のある地方の方言用語もここでは完膚ないまでに攻撃をうけてしまつた

これには並ゐる先生方も初めてみる少女達の國語への敢鬪に思はず感激の聲を放ち同四時終了を待ち兼ねて來賓一同改めて常會見學の感想を述べ合ひ醒めぬ感激を殘して五時散會した【寫眞＝國語座談會】

京城警防後援會發會式
けふ府民館で擧行

京城警防後援會は既報の如くいよ廿七日午後一時から府民館中講堂で第一回總會を兼ね發會式を擧行するが當日の式順は次の通り

▲開會▲林殖銀頭取の設立經過報告▲會則案朗讀▲京畿道知事から會長、副會長をそれぞれ推薦▲會長から役員を依囑▲會長の挨拶、▲來賓祝辭、▲警察部長の挨拶、▲閉會

米、食糧品の二重配給を摘發
本町署管內目拔街で十四名

米、食糧品の二重配給は買溜となり國を滅す基ともなるので當局でも鋭意取締つてゐるが、配給機構の不備な點に付込んで二重配給の不徹を敢てする不屆者が依然跡を絶たないので本町署經濟係では二十三日係員總動員で管內某方面四ケ町內の買出狀況を拔打的に一齊調査を行つた

調査戶數二百二十戶、家族人員千七百三十八名のうち家族增加の名目の下に故意に米その他食糧品の二重增配を受けてゐたもの十四戶の四十一名にのぼり今更目拔街の不統一振に係官を啞然たらしめたが、何れも嚴重な說諭を加へ今後二重配給の跡を絶たしむることゝした

健康兒に初等科學
養護兒童には醫療と輕運動
東大門國民校の構へ

【寫眞＝兒童たちの太陽燈治療】

戰爭だ、戰爭だ、前線も銃後も前進だ、前進だ、休んでゐては人に遲れる、休んでゐる間に世は變る…この夏休みこそは大東亞戰爭下の小國民鍊成に全時間を費して人的資源の培養に主眼を打つた東大門國民學校では來月廿一日から一ケ月に亙つて行はれる兒童達の樂しい暑中休暇を控へて早くも休んではならない夏休みの鍊成要綱を定めたが、全鮮一完備した設備用具を所有してゐる同國民校として從來顧みられなかつた細部の學童生活を再檢討して、これらの諸設備を極度に活用、體育と學業の二本立に正しい平均率を示した鍊成方針を決定、連日學童の登校を促して興味溢り澤山のプログラムを編成することゝなつた

その第一の對象として選ばれたのが同校が六年前から實施してゐる二、三年兒童中の不健康兒で組織してゐる養護學級生百名の體育訓練で、學業を第二義に廻して先づ休暇中にしつかり他の兒童に伍して行けるまでの身體强度を昂めて置かうといふのだ、これにはまづ同校醫務室に備へつけてある太陽燈照射をはじめ日光浴、乾布摩擦、ボート漕ぎ練習といつた過度に陷らぬ醫療と輕運動によつて健康を取戻させ、これだけを夏休み中の全行事としてあるが同時に家庭と連絡を密にして每日辨當食を持參させ職員とともに食べてこの間に虛弱兒童の特徵である偏食を矯正することとなつた

次に健康兒童に對しては學期中に時間的制約をうけて素通りをしてゐた學科目を兒童の希望に應じて自由に再教育を施し、また平生研究し得なかつた初等科學例へば模型飛行機、電氣機關車等の製作に傾倒させて科學の域を鍛錬させるといふ方針をとつてゐる、そのほか健康兒に對する鍛錬は各學年に應じて牛耳洞、退溪院、仁川等に行軍キャンプして山上、野外、海邊の生活を體驗させて忍耐力を養ひ、また勤勞精神養成のために校內にしつらへた農園の手入れを隨時行はせて汗の貴さを敎へること とした

かくして戰ふ兒童達のために盛られた番組は名ばかりの學中休暇にふさはしく同校の別府校長が兒童の本能に合し趣味を生かして第二國民の鍊成に高い目標を向けたのであり時代の教育としてまた夏休み中の諸行事として興味盡きぬものがある

體操や講演で時局認識徹底
ネオン街の婦人へ筋金一本

銃後婦人の覺悟を新たにするためネオン街に號令し府內接客業婦人に對し大東亞戰爭完遂必勝の信念をもたしむる爲京城府ではいはゆる"水商賣"に屬する府內の料理屋、カフェー、貸座敷等二十一組合の女子從業員五千名に對し『時局認識徹底講習會』を開くことゝなつたが、廿六日午後二時から府聯委員會室に各組合代表三十名が出席して打合せが行はれた

"サービスガール"の名稱の下に從來軟弱な生活に浸つた女子從業員に筋がねを一本入れようといふ初の試みだけに多くの期待をもたれてゐるが講師は修養團理事竹內浦次氏、修養團朝鮮總局中山貞雄両氏で講習は二日間をもつて一回とし受講者はエプロン、手帳、鉛筆を携行する張切りぶり

午前九時開講式、國民儀禮について『大東亞戰爭と皇國婦人の使命』と題する竹內氏の講義、午後一時からは中山氏の『國民歌』及び『厚生體操』續いて午後三時まで講義といつた猛訓練で花街婦人の心身を鍛成する仕組みである、開催日程は次の通り

▲六月廿九日、卅日旭講堂、七月一日曹谿寺、七月三日、四日鐘路靑年會館、七月五日、六日永登浦出張所、七月七日、八日修養團道場

獻金の花束
西大門署へ

西大門署へ廿六日寄せられた皇軍への赤誠の花束……

金三百円＝孔德町二四八中村和作さん▲金二百円＝橋南町一〇四文寅欽さん(六二)は喜壽祝を取りやめた費用をそつくり獻金したもの▲金五十円＝蓬萊町三ノ六二飯田尾さん▲金十円廿四錢橋南町八一河村戴吉さん

『金剛登山團』の一行出發

本社主催『深綠金剛登山團』一行百十名は、本社事業部員、東亞旅行社員に引率され廿六日午後十一時二十分京城驛發で出發した

一行は內金剛の明鏡臺、萬瀑八潭、普德窟、白雲臺を探勝、金剛一萬二千峰の最高峰毘盧峰上の久米山荘に一泊し外金剛の九龍淵、新萬物相を踏破、廿九日午前七時五分京城驛着列車で歸城する

前借踏倒し

全北完州郡高山面西峰里貝甲順(二)は北京の貸座敷業代加藤方に二千円で身賣りしたが去る廿一日入城、臨鱗町一〇二金貞淑さん方に投宿中、その夜借金を踏み倒して何れかへ姿を晦ました、府內各署で搜査中【寫眞＝貝甲順】

大祓大祭

黃金町六丁目黑住教京城教會所では廿七日(土)午後七時半から大祓大祭式に大東亞祈願祭を執行、多數參拜を歡迎

横山彌三氏(元壽松國民學校長)豫て病氣療養中廿五日午後十時四十五分死去、享年七十五、廿七日午後四時本町三丁目開教院で葬儀を執行

愛の赤道【136】
竹田敏彥作　都竹伸一繪

暗に射す影(一)

千鶴子が、學母の家へ歸つてから、もう一週間が過ぎた。

この界隈は、トヨタ自動車のため、急發展した場所だけに、アパートなども、勿論會社の施設で、老人子供を除く外は、すべて働く人々の集合地帶だつた。

だから、千鶴子のやうな年盛りの娘が、別に仕事もなく、ぶらぶらしてゐることは、自分でも咎められるやうな氣がして、三日もすると、もう顏がさしてならなかつた。

そこへ兄の健吉は、朝六時半には出ていつて、夜は七時を過ぎないと歸つてこないし、母にしたところで、留守中の家事の他に、隣組の委員の用事もあれば、そのひまには、家でできる程度の、手內職が振り當てられてゐるので、これまた暢氣にしてゐる暇もない。

さうした多忙な生活は、自然、無駄な內輪話の機會を封じて、打明けられない秘密をもつ千鶴子にすれば、餘計なことも訊かれずに濟み、大いに助かる譯ではあるが、しかし、やがては隱ひ切れなくなる秘密の主體の成長を考へると、一刻一秒も、落着いてゐられなかつた。

一郎の情けで、一時は逃れたものの、これは曝れずに濟むことではなく、結果を示さずに赦される過失ではないのである。

千鶴子は、夜も日も、それのみ惱み通して、日一日と近づく結果の前に、戰き怯えて心も細るのだつた。

『どうしたんだね、えゝ千鶴子、お前、今度歸つてからは、妙に元氣がなさゝうだが、何處か、體具合でも惡いんぢやないか』

ともすれば思ひに打沈んで、ときたま、洩れる切なげな溜息さへ見て、健吉は或る晩、かういつて心配さうに訊ねた。千鶴子は慌てゝ、

『いゝえ、そんなことは、ちつとも……』

打消したが、

『私も、さう思つてな……もつと氣さくな娘だつたと思つてゐたのに、やはりお隣さんのやうな、きつい人の下にゐたので氣へ目ながついたんだらう』

母は、母らしい解釋を下した。

『それより、ねえ兄さん、私早く働きたいんですの』

千鶴子は、話題を避けるやうに言つた。彼女にしてもかうして、遊んでゐることは、世間の體裁も悪いばかりでなく無爲な退屈な生活ほど、心の惱みを深めるものはないので、歸るから健吉に仕事の口を賴んでおいたのだが、いつも健吉は、

『まあ、いゝぢやないか。一旦仕事に就いてしまへば、かういふ御時節だ、滅多に休養はできないから、ゆつくり東京の疲れを休めておくさ。そのうちに工場の方からも、何とか言つてくるだらう。人手は不足で困つてゐるんだから』

健吉は、千鶴子の體軀を氣遣つて、就職口も急がうとしないやうだつた。

今も、千鶴子は、それを言ひ出して、辛い話題の鋒先を避けようとしたが、健吉は、

『しかし、お前の勝れない顏を見ると、もう少し休んだ方が、いゝんぢやないかと思ふがね』

氣遣はしげに千鶴子の顏を見た

『仕事に行けば、却つて紛れますわ』

答えず千鶴子が思ひのまゝを洩らすと健吉は、すぐ、

『紛れるといつて、何かお前、そんな心配事でもあるのかね……それなら母さんや、兄さんに、話してくれたら、どんなものだね』

急所に觸れた兄の言葉に、千鶴子は、はつと狼狽の眼を伏せずにはゐられなかつた。

ラヂオ 廿七日

朝 午前五・三〇(名)初夏の小鳥＝戶穆山にて＝▲六・三〇日本世界觀(三)大串兎代夫▲九・〇〇戰時生活相談▲九・三〇(城)國語會話の時間(朝鮮家庭向)田中初夫(城)ラヂオ回覽板(朝鮮語)▲一〇・〇〇『アメアガリ』佐藤絢子他▲一一・〇〇共榮圈童話の旅『東印度の巻』岩田直二

晝 午後〇・三〇管絃樂『南海進軍譜』ほか 興亞室內樂團▲一・〇〇朗讀『若きマレーの尖兵』▲一・三〇(大)『學校教育と家庭教育』(一)木村素衞▲二・三〇(城)『肥料の話』(鮮語)井山弘

夜 六・〇〇(城)物語劇『船出』明石英子ほか▲六・三〇(城)音律『平調會相』ほか正樂傳習所員▲七・三〇國民合唱『南へ進む日の御旗』指導伊藤武雄▲八・〇〇『唄のお好み袋』勝太郎ほか▲九・〇〇(城)朝鮮樂『報國靑年隊同行記』(鮮語)滋賀縣中里村にて錄音＝宋放送員▲九・五〇(城)中等國語講座▲一〇・〇〇ベルリンより(錄音)音樂『日本の春』

皇紀二千六百二年　昭和十七年六月二十七日（土曜日）　京城日報　【市内版】　第一万二千四百五十七號

夕刊　京城日報

小磯總督初の知事會議

けふの臨時知事會議

臨席の小磯總督

劈頭・四大綱領明示
總督烈々たる統治方針

小磯新總督、田中新總監を迎へての初の臨時知事會議は廿六日午前八時半から總督府第一會議室に開かれた、小磯總督、田中總監を始め十三道各知事（下飯坂平南知事は事故のため缺席、小田內務部長知事代理として出席）總督府各局部長、官房各課長、增永高等法院長、原檢事長、高橋朝鮮軍參謀長、中井朝鮮憲兵隊司令官、波田總力聯盟事務局總長、中野拓務省管理局長等出席、定刻開會するや小磯總督起つて磐石の決意を眉宇に別項の如く約一時間半に亘つて熱烈眞摯の大訓示を行つた、說くところ悉く國體の本義に透徹した確固不拔の信念を以て貫かれ、吏道刷新に關しては上意下達、下意上通、各官廳及び官公吏縱橫の連絡協調を說き、產業經濟施策に至つて食糧の增產と確保、農村の再編成、工業、鑛業、電力、運輸交通通信貿易、產業經濟の統制の各般に亘つて所信を披瀝したが、その言々句々は滿々たる自信と完成を期した鐵壁心とを如實に示しており、就中統治者としての威嚴を強調して止まなかつた、同訓示に次いで高橋軍參謀長から徴兵制度實施に關する演述があり、終つて田中總監統裁官となつて議事に入り各道知事よりそれぞれ管內狀況の報告を行ひ正午休憩、午後一時再開、午前に引續いて知事の報告があり同四時散會した

國體の本義透徹に根基
官公吏、神境に立て
總督訓示〔要旨〕

不肖此の度圖らずも乏しきを以て大命を朝鮮統理の重任に承けました、原より頑々として其の及ばざらんことを顧念致しますが、然し謹んで皆職の陣頭に立ち眞に一身を擲げて事に當り誓つて聖慮に副ひ奉らんことを期して居ります、不肖嘗て朝鮮軍に在り又拓務省に在勤し、自然朝鮮事情に關し多少の知識を得せざるに非ざるも、直接統理の衝に立てる今日としては歴代總督の遺蹤を履み更に克く現狀に即し時宜に應じつゝ戰時下國策の遂行に邁進したいと存じます、茲に着任と共に先づ道知事會議を招集し、本總督の施政上企圖抱懷する態度方針の大綱を訓示し以て各位の積極的協力を要望するものであります

一、統治一般方針の履踐

朝鮮統治の大本は夙に　聖詔に昭示せられ歴代總督亦聖旨に基き幾多の政綱政策を掲げその治績の擧揚に努められて殆ど餘蘊ありませぬ、殊に統治の大本は總督の更迭等に依つて些かたりとも變改を來すべきものでありませぬ、仍て本總督としては故らに政綱として諸種の項目を羅列することを避け舊來掲げられたる政綱政策にして時勢と民度とに適應し依然進展を期すべきものに對して極力之が充實、擴延を計り特に之を實踐に移さんことを期すべきことは不肖就任以來繰返し聲明し來つたこと各位御承知の通りであります

然れども時勢の流動推移は輓近殊に甚だしく人心の歸嚮、民情の變化亦之に伴つて微妙なる動きを見せて居ります、之等常に動いて已まざる對象に向つて行ふべき施措の緩急に至つては自ら剴切妥當なる見解に基づき處決せらるべきこと無論のことでありまして、飽までも現實の推移に即し、暇を逐ひ序を履んで施政の暢達を期せんとする用意の肝要なることは申す迄もありませぬ

二、國體本義の透徹

皇國日本不動の國是たる八紘爲宇の顯現は、天壤無窮の皇運を扶翼すべき萬邦無比、人類最高の道義を、中外に布施宣揚することにより企及し得べきこと、炳として教育勅語に昭示せられて居ります、如斯の道即ち皇運扶翼の道は勅語の中に摘記せられたる各種徳目實踐の目標乃至結論であつて、而もこの目標乃至結論の眞諦は勅語の冒頭に明示せられたる『皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ』との聖旨に基き國體の本義を究明しこれに透徹する時にはじめて認識し得べきものであることを示されたるものと解すべきであります

顧つて大東亞戰爭とその建設とは、八紘爲宇の道程における聖業の一段階であり、しかもこれが完遂を期し得ると否とは直ちに國家の運命に關係致します、これ即ち今日我が政治經濟の一切を結集して國家總力結集の爲には物心兩面の調整歸一を必要とすると勿論でありますが、就中精神力の強力なる統一こそ國力、戰力を決定する重要素因であり、しかしてこの精神力は國體の本義に透徹するときにはじめて不拔なる強力性と崇高なる統一を具備し得るものたることを贅言するまでもありませぬ

然るに世上動もすれば國體本義透徹の切要を叫ばせらるる勅語の奉讀を徒に形式的行事に委してその深奧を閑却し却つて眼前の事象利害にのみ眩惑躍躍するの弊風がありますが、就中朝鮮半島の衆庶に於て特にその然るを認むるのであります、若し夫れ一度皇祖皇宗肇國樹徳の史實を顧みれば、單り國體の本義に徹し得るに止らず、內鮮の同根同祖たる所以をも體得することが出來、從つて前任南總督が力強く要望せられたる內鮮一體の眞諦をも認識把握することが出來るのであります

最近國體の本義に目覺め來り道義確立に熱烈なる皇國日本が著しく興隆し、功利主義米英が東洋より潰れ去りつつある現實は、正に道義は實に人類の最高善たることを如實に神現せるものと謂はねばなりますまい、即ち本總督が在任の初めより口を極めて國體本義透徹の切要を絶叫しつつある所以でありまして、半島における教學は勿論施政一切の根基を此處に置き官民の一致協力を俟つて道義朝鮮を不拔に建設し更に爲し得べくんば皇國日本の一環中國體の本義を基調とする道義地域は朝鮮を以てその隨一たらしめんことを念願するものであります

若し夫れ緩馬遜貨に指導し反復丁寧に啓蒙しても尚且國體の本義を無視し、斯くして皇國臣民たることを厭ふが如きものに至りては朝鮮半島否日本皇土に居住在籍の資格なき者でありまして、適法の處斷を要します

三、吏道の刷新

我朝鮮における教學逐日進展の道程を辿りつつありますことは、各位と共に同慶措かざる所であります、然れども物心兩面より觀察すればその民度は內地に比しなほ未だ相當低きを免れませぬ、從つて將來教學の刷新向上を期すべきは勿論でありますが衆庶に對する指導者としての官公吏の地位は內地に比し著るしく高く、其一言一動の衆庶に及ぼす影響亦甚大であります、本總督は道義朝鮮確立の中核たるべき官公吏の自奮努力を要望して止まぬのであります

1　上意下達

官公吏中若し指導者たるべき教養研鑽を怠りて濫りに強權を濫用し、或は法規命令の實施等上意下達業務に服するに方り深く其取むべき理念、精神を究明することなく、一般民情の動向を無視して徒らに形式の末に走り、濫りに統計的數字の增加を圖るが如きことありとしましたならば、上層の明察叡慮も、又その精進努力も悉く行政の末端において歪曲冒瀆せられ時として又は衆庶を悲觀に逐び込み甚だしきは反て民怨を不測に挑發するもの[illegible]はねばなりませぬ、宜しく　明哲鏡の如き　神境に立ち溫情を持して繁を厭はず、反復指導を重ね一切を包容し攝理し且これを驅使し衆庶をして喜んで一般的大方針に吻合歸一せしめ以て忠良なる皇民たらしむる樣努力せんことを希望致します、屬一各位の部下にして　その本分に悖り非違を敢てし民心を忝辱するが如き者あるにおいては各位の職權において斷乎鹽正を期せらるる樣要望しておきます

2　各官廳及官公吏縱橫の連絡協調

凡そ政治行政各部門の運營は綜合的運營を必要とし各人各局課相互間における偏狹なる割據的獨善は絶對に之を排撃せねばなりませぬ、毎に前述明哲鏡の如き神境の裏に虛心坦懷心眼を開いて時務を達觀しつゝ相互その主張する所を判ずれば自ら歸一する所を發見し得るものと信じて疑ひませぬ、此の如くする時人評して妥協折合なりといはばそのいふ所に委して可なりです、內顧みて自ら正しければ千萬人と雖も我往かんとはこの境地を評せるものにして、決して偏見我執に與せる評語でないことを銘記せねばなりませぬ

3　下意上通

阿諛迎合は政治を腐敗せしむる所以であります、實際經驗と理論とを基礎とし慎重熟慮の結果眞に是なりと信ずることに對しては假令上司の面を冒しても尚且これを進言主張すべきであります、而して下意上通の意義正に此の如きをいふ、是なりと爲す以上、自己の下僚をして亦此の如くならしむること切要であります、尚進言に對しては常に濶容を以てこれに耳を藉すことの必要であることは申す迄もありませぬ

然れども事の決定は自ら上司の權能に屬します、上司固より雅量を以て進言を聽き自己の足らざるを補修し誤れるを矯正致しませうが、その決定假令進言と全然背馳する場合においても一度決を見たる以上その結果如何に拘らず我說は要すれば弊履を抛つの概を以て決定案の完遂に忠實でなければなりませぬ、是が即ち崇高なる吏道の發露であるといはなければなりませぬ

食糧對策に萬全
不適作物の強行改善

四、產業經濟施策

產業、經濟に關する施策は固より大東亞に廣域經濟を建設せんとする國家の大方針より派離、逸脱してこれを爲ふることを許しませぬ、併しながら職能と個性とを異にする四肢五官が集つて人體の機能を爲すが如く、朝鮮は朝鮮固有の產業立地的特長を發揮して最高の能力を國家遂行に獻ぐることこそ必要なりといはねばなりませぬ、是においてか我朝鮮における人的物的資源の素質、分布、運輸交通等百般の要素に亘り精緻なる檢討を加へ、且內地並に廣域經濟の現狀及び將來を達觀し、よつて以て朝鮮に適合する產業の興隆を圖らねばならぬものと存じます

以下若干の重要事項に關し簡單に本總督の企圖する所を概說し以て各位向後の努力を要望致します

1　食糧の增產と確保

皇國日本現下の國策が北居南面にしてその南進武進展の爲には北居の一角朝鮮が北の護りを盤石ならしめ居ると又重要なる一因であること申す迄もなく、殊に國民生活保障上朝鮮產食糧の貢獻する所甚大であります、而して朝鮮產食糧は內地の不足を補塡すると同時に自らも生活を確保して北居南面政策上北の護りを固くせねばなりませぬ、最近一部無智なる半島人中食糧不安を顧念する者あるを聞きますが宜しく半島統治責任者の善處に信頼すべきであります、食糧就中米の增産は最も希望せねばなりませぬ、然れども急速なる食糧增產は粗耕作の改善によりて目的を達し得べきに着眼し各位の努力を切望致します、尚空閑地及浮遊勞力の積極的利用に努力せらるることが必要であります

產業統計の不正確は食糧の確保配給を危からしむる原因たるに鑑み事功を逐ひ上司に迎合せんが爲食糧數量を修飾すると將來における配給不円滑時の調整に資する爲實數を隱匿するとは共に同胞の純朴性を傷ひ且行政の運營を好で混亂に導くものなりと斷ぜざるを得ませぬ、嚴に將來に對し戒飭を望んでやみませぬ

2　農村の再編成

半島農村の現狀を大觀するに一戶當耕地面積は地方により異りますが所により著るしく狹小なるのみならず、小作農民多く自活に適せざるものが少くありませぬ、又夙來提唱せられ來りし南棉北羊の標語も形式的にこれを強要せる向もありしが爲、不適作物の強行栽培に苦しむものを生ぜる等幾多改善すべきもののあるを認めます、將來農村の分戶分村による移植、自作農地の創定、適地適作の合理的指導、輸出適補作物の獎勵、有畜農法の採用、乳牛の飼育と製酪等々各位の協力を俟つて改善向上を期したいと思ひます

3　工業

聖戰完遂上時局產業就中軍需工業附帶の產業その他重工業一段の發展育成に努力すべきことは勿論でありますが、將來南方各地域に生產する過剩資源を基礎とする製產工業を朝鮮に勃興せしめむことを企圖するの外米英勢力衰退後における大東亞圈の現實的要求に鑑み平和產業就中纖維工業の維持向上を圖ること亦切要なりと信じて居ります

4　鑛業

朝鮮における地下埋藏資源の豐富なること殆ど世人の豫想を裏切り遂に逐年重要鑛物の發見增產を實現しつゝあるに止らず東亞共榮圈否遠く世界にも稀に見る鑛物をすら發見するに至れるは皇國前途の爲慶賀措かざる所であります

是等重要資源は當分の間其の一部若は大部を內地工場に輸送補給するの必要がありますが、內地及大陸間の交通線上隘路を成形せる部分あるに鑑み將來鮮內における豐富低廉なる電力と相俟つて朝鮮を名實共に完全なる兵站基地たらしむる爲此種資源を原料とする工業の勃興を企圖せねばならぬものと存じます

5　電力

電力最近著るしく勃興し而も尚數百萬キロの未開發水力を包藏しある半島の電力界は著るしく有望且多幸なる將來性を有し殊に最近內地が土地及電力の關係において漸次行き詰りの狀態を呈せんとするの秋電力を基調とする朝鮮の工業立地的價値愈よ倍加せられ來れるを認めねばなりませぬ

電力の開發と產業の振興とに關し向後各位の努力に俟つもの寔に大なるものあるを覺悟せられたいのであります

6　運輸交通通信貿易

朝鮮經濟の戰時態勢化に伴ひ交通力の增強、通信施設の完備、港灣の築造、造船、沿岸航路の整備等に關しては將來努力の蹤跡を更に強力化し國防及產業の要求に後れざらんことを期せねばなりませぬ

特に統計の示す所によれば朝鮮貿易中對支貿易甚だ振はざるものあるを遺憾と致します、殊に朝鮮の地理的環境は木造小船により支那との貿易を振興せしめ得べき實情にあるに鑑み木造船舶の充實と半島特種生產品の增殖と相俟つて貿易就中對支貿易の向上を期したいと思ひます

7　產業經濟の統制

產業經濟の戰時態勢化に伴ひ比年強化され來つた經濟統制政策は列國その揆を一にし將來と雖も再び戰前の如き自由經濟に復歸することはないものと信じます、而して經濟統制着手以來茲に數年、官民共に漸くその理念を了解し、その方法に習熟し來つた觀はありますが、運用の妙致に達するまでには尚前途相當の道程あるものと思ひます

元來官僚統制は經濟上好んで採用すべき處置でありませぬ、市場操作に放任するを許さざる場合にかてもなし得る限り之を民間同業者間の自治統制に委し眞に止むを得ざる場合において初めて官僚の權力統制に移るべきものと考へます、從つて統制の局に當る者は所謂角を矯めて牛を殺すが如き統制の爲の統制に墮するの過なきを期し特に統制實施の爲生產を減退し、配給の円滑を害し、民業立地を崩壞し、企業心理を委縮せしめ之に依つて終に國家總力を減退に導くが如き憾なからしむる樣機微なる觀察と細心の注意を拂ひ以て產業經濟の円滑健全なる發達を期せられたいのであります

將來個々の部門における方針に就ては實際に即し通牒示達する考へでありますが豫じめ各位の獻身的協力と着意とを要望致して置きます

五、結言

以上、施政に臨む本總督の態度方針に關し抱懷する所の梗概を開示して以て各位の協力を求むる次第であります

今や大東亞戰爭は大御稜威の下既に不敗の境地を確保したとは申し乍ら、本戰爭はその情勢の甚しき、その規模の雄大なる、古來未だ曾て類例を見ざる國家總力戰でありまして而もその歸趨全く豫斷を許さず國際政局の推移する所朝鮮半島亦從つて單なる遠き銃後の經濟地域として安閑たり能はざる事態の發生なきを保せずといはねばなりませぬ

朝鮮は往年支那事變勃發後志願兵制度の敢行に邁進し、今また大東亞戰爭下徴兵制度の實施決定を見るに至りましたが、是認し朝鮮同胞が道義を基調とする世界改造の聖業に躍り中核的指導者として大東亞建設に勇むの地位と機會とを把握し得たものでありまして、本總督は朝鮮同胞の爲即ち又皇國日本の爲衷心慶悦に堪へざると同時に朝鮮が向後戰爭推移上假令如何なる苦難に直面すると雖も朝鮮同胞は今次戰爭間に體得せる感激と矜恃とを更に發揮向上して斷乎世界改造と大東亞建設の聖業完遂に勇躍奮進するであらうことを信じたいのであります

本總督は一視同仁の聖旨を奉體し必ずや朝鮮同胞の物心兩面に亘る水準をあく迄も向上して一日も早く內地同胞と眞に無差別一體の境地に導かんことを固く心に期して居りますが、其の實現の爲特に半島官民指導者層各位の蹶起協力に期待する所極めて切なるものがあるのであります、庶幾くは各位官民に本總督眞意の存する所を明察し大東亞建設下における朝鮮統治のために挺身せられんことを希望して已みませぬ、一言所懷を述べて以て訓示と致します

昭和十七年六月二十六日

朝鮮總督　小磯國昭

敵第三戰區 完膚なし

【浙江省〇〇廿五日同盟】今次浙贛道方面の作戰において敵第三戰區軍は精強なる皇軍の鋒先に慘敗を喫したが、そののち捕虜の言その他を綜合するに敵戰力の損耗は甚大で全く完膚を止めぬ有樣であることが判明した、すなはち第十集團軍に屬する第十八軍隸下二個師の如きは金華、衢州方面で大打擊を蒙つて潰亂し去り、また江西省にあつた第七十九軍の三個師もわが猛擊に殲滅され再起不可能に陥つたほか、浙江方面にあつた第八十六軍隸下十六、六十七兩師は半數以下に第廿八軍三ケ師は三分の二乃至三分の一以下にそれぞれ兵力減少、比較的逃げ足の早かつた新編第九軍の五ケ師および第四十九軍の三ケ師の如きも何れも三分の一以上を喪失してゐる

先づ殺せ、心に巣食ふ利己の虫

時の録音

道知事會議開かる。小磯總督の初訓示、國體の本義を強調し統治の根幹を明示す。

×

その說くところ懇切細緻、形式を避けて、統治運用の實踐に觸れて力強し。

×

然も產業、經濟、文化、交通の各部門に亘り、その向ふべきところを指示するや的確。

×

全官民一體、この烈々たる總督の訓示を體して實踐だ、行動だ。

×

ル・テ會談は意見の對立が傳へられる。當り前の事だ。

×

お互に人の褌で角力の藍引なんだから纏まる筈がない。

×

結論はチャーチルが國を賣ることで落ちだらう。

火を吐く大訓示

慈父の言に知事さんら神妙

型破り、宛ら家族會議

新總督を迎へ初の知事會議

小磯新總督、田中新總監を迎へての初の臨時道知事會議は涼しさに惠まれた廿六日午前八時半から開かれた年度初めの定例會議のやうに滿洲、北支、臺灣、樺太からの出席者は一人もなく拓務省の中野管理局長がただ一人御高話拜聽席にゐるだけ、その中野局長も嘗ては總督、總監を大臣、次官に仰いでゐたのだから全くの家族會議だ……

定刻國民儀禮に次で小磯さんの訓示に入つたが國民服に大綬章を佩した小磯さんは坐つたまゝだ型破りには違ひないが最初いささか面喰つた並居る知事さんたちも結局この方が家族會議にふさはしいと知つて緊張した落着きを以て小磯さんの言葉を噛みしめ噛みしめ聽き入つた

大學教授　が講義でもするかのやうに諄々として説いてゆく廿五日は午後八時まで白堊殿堂に頑張り、昨夜十一時過ぎまで景武台官邸の奧深く思索檢討を加へて自ら書きあげた訓示原稿であるだけにその言葉の一つ一つは肚の底から出て來る練れたものである

開口一番　『不肖この度圖らずも忝くも大命を〃朝鮮統理〃の重任に承けました』と挨拶したが〃朝鮮統理〃てふ用語からして既に小磯さん獨特のもの『鏡の如き御鏡』『神現』など壯嚴味を帶びた言葉がひよいひよい飛び出す、説くところは國體本義の透徹─教育勅語こそは精神教育の根幹をなすものでありわれ等の守り本尊であらねばならない

世上往々　にして勅語を奉讀する人、拜聽する人共に形式的に流れてゐる嫌ひがあるが、斷じて是正されねばならない、と喝破し小磯さんの火の如き信念を吐露してゆくあたり聽く者も思はず心に鞭うたれるわけだ、吏道刷新から更に進んで戰時經濟の振興施策に說き及べば〃軍人四分政治家六分〃と畏怖された小磯さんの舌端は一段と熱を加へ鑛業、交通、農工、商業の各般に亘つて鋭利を極めた知性と信念との渾然たる風貌となつて滔々と語り續ける

道義朝鮮の確立を叫んでその強靱不壞の信念を披瀝した小磯さんは茲に至つて〃産業〃督〃の實錄を堂々展開してゆく

食糧の不安は斷つて一掃せねばならぬ、民を飢えしめて滅私奉公はあり得ない、統計の正確は絕體に期せよ、統制經濟の如きも官より強ひるものでなく進んで自主的統制に入らねばその全き運營は望むべくもないのである、と說く小磯さんは經濟學博士ほどの蘊蓄を惜しみなく示し、さうして同十時半この一時間半に亘る大訓示を終へたのである【寫眞─小磯總督】

小磯新總裁を迎へ　總聯初の全鮮理事會日程決る

小磯總裁田中副總裁を迎へての朝鮮聯盟最初の全鮮理事會は來る卅日午前九時より本府第一會議室において田中副總裁總裁の下に清新潑剌の意氣をもつて開催されるが會議日程は次の通り決定した、なほ會議は一日を以つて終了する

一、一同參集　二、開會　三、宮城遙拜　四、默禱　五、總裁訓示　六、副總裁挨拶　七、征戰下に於ける地方民心の動向聽取　八、閉會

臺灣蓬萊米を比島に移植

【マニラ十六日同盟】比島派遣軍當局では臺灣蓬萊米の比島移植に成功を收めた、今回パンパンガ州に二千町歩の土地を軍農場とし模範農場を設け大田興業會社に委囑して農作物を大規模に栽培せしめることゝなつた

躍進の簡保　全鮮で九億圓突破

國民貯金の增強と家庭生活を守る朝鮮簡易保險は躍進また躍進の一路を辿り契約保險金八億圓を突破したのが四月の中旬、それから僅か二ケ月の間に九億圓を突破し總增一億圓の新記錄を作り朝鮮における貯蓄の動向を示す好箇のもの

昭南華僑の赤誠　五千萬弗献納式

【昭南市廿五日發同盟】援蔣工作の中心地として活潑な抗日排日運動を行つて來た昭南島およびマレーの二百五十萬華僑は昭南島の占領を契機として今次大東亞戰爭の眞意を解し、過去の誤りを反省してわが方に協力せんとする誠意を披瀝するに至り、その具體化の一つとして占領直後五千萬弗獻金を申入れ來たが、爾來數ケ月昭南市……

……トン來電によれば米陸軍省は本部作戰課長ドワイト・D・アイゼンハワー少將をヨーロッパ派遣軍司令官に任命した旨二十五日發表したが、同少將はすでにロンドンに到着してゐる

アイゼンハワー將軍は本年五十一才で前大戰に戰車部隊附として從軍したことがあり、戰車の權威者として知られてゐる

北阿の獨伊軍破竹の東進

シディ・バラニに達す

埃及進入七十二キロ

【ローマ特電】〔廿五日發〕イタリー軍司令部廿五日發表＝北アフリカ戰線の樞軸軍はリビヤ、エジプト國境附近においてイギリス第八軍殘存部隊を擊退、カプッツォ、ソルム國境附近のイギリス軍重要地點を一氣に攻略し、東方に敗走する敵を急追して廿五日には要衝シディ・バラニを占領、同地南部地方一帶の掃蕩を完了した

註　シディ・バラニはエジプト國境東方凡そ七十二キロ、マルサマトールとソルムの中間にあり、地中海沿岸のエジプト北部唯一の道路を扼する要衝である、一昨年九月十八日イタリー軍は一旦これを占領したが、イギリス軍に奪還された、イギリス軍は右奪還直後アレキサンドリヤよりマルサマトールまでの鐵道をシディ・バラニまで延長、北アフリカ防衞の完璧を期したもので、同地の陷落により獨伊軍はこの鐵道を逆用してマルサマトール經由一氣にアレキサンドリヤ、スエズを占領し得る戰略的利益を掌中に收めた譯である

マルタ島連爆

【ローマ二十五日同盟】伊軍司令部二十五日發表＝

北阿戰線　獨伊軍はリビヤエジプト國境において敗走の英第八軍殘存部隊を擊破しカプッツオ要塞、ソルムおよびハルフアを占領引續き東方に敗走する敵を急追二十五日遂にシディ・バラニを占領引續き猛進中である

地中海方面　一、獨伊空軍はマルタ島ルカ、ミカバ兩飛行場を反復爆擊大火災を生ぜしめた

大西洋方面　一、大西洋に活躍中のイタリー潛水艦は八千トン級武裝商船五千五百トン級商船および六千トン級商船各一隻を擊沈した

一氣、ソルムを突破

英西亞軍、敗退確認

【リスボン廿五日同盟】ロイター通信カイロ電によれば北アフリカの戰局は俄然急展開を見せロメル將軍麾下の樞軸軍は抵抗する聯合軍を擊破して一氣にエジプト領に進入、早くも要衝ソルムを占領イギリス西亞軍司令部も二十五日樞軸軍のソルム占領を確認、左の如く發表した

獨軍の先遣部隊は二十四日夜遂にシディ・バラニ東南方に進出、イギリス軍はソルム、シディ・バラニ、シディ・オマル陣地より後退した

ベルリン特電（廿五日發）ドイツ軍司令部は廿五日ソルム、ハルフアを經てエジプト國境を越えて猛進中の獨伊軍は廿五日リビヤ、エジプト國境を越えて、他の一部隊はフオード、カプツオを占領しなほ引續き敗敵を東方に急追中であると正式發表した

英、急遽援軍

イラン駐屯兵派遣か

【チューリツヒ特電】（廿五日發）アンカラ來電＝イギリス軍當局は北アフリカの重大事態に狼狽し、昨年秋以來イランに進駐せるイギリス軍の撤退を決定、英イ兩國は今後イラン全土を英ソ聯軍の掌握下に…の緊急命令を發した、なほ右イギリス軍の撤退によつて今後イラン全土はソ聯軍の掌握下に歸するものと見られる…軍をエジプト防衞に充てる方針を決定、英イラン軍全部隊に至急エジプトに來援すべしと…

チャーチルも參加　太平洋軍事會議

【リスボン廿五日同盟】ワシントン來電によれば廿五日太平洋軍事會議がホワイトハウス當局で開催された旨發表した、同會議はすでに十回を數へるが、今回は特に目下訪米中のチャーチル英首相が參加してゐることは注目に値する、その他主なる參加者は次の通り

駐米英大使ハリフアックス、オランダ外相クレフエンス、重慶外交部長宋子文、米武器貸與計畫長官ホプキンス、米國務長官ハル、など計十三名

遣歐軍司令官　米新たに任命

【リスボン二十五日同盟】ワシン…

米英會談も取止め

チャーチル急遽歸英

【ストツクホルム特電】（廿五日發）ワシントン來電によればルーズベルト、チャーチル第三次會談は豫定より早く切上げ廿五日終了した旨發表されたが、右は北阿戰線の重大化によるイギリス政界の混亂に對處するためチャーチルの早急な歸英が要求されたためである、これによつてチャーチルと重慶代表宋子文との第二次會談も中止されることとなつた、なほチャーチルは今週末歸英直…

炎天下冠岳山に挑む　下

一里の急坂強行軍

舌を卷く婦人の健脚

二十一日午前八時十分冠岳山を目ざして進發の命は下つた、先頭指揮班、婦人班五班から一班、救護班を殿軍に溪流に沿つて右に左に約卅分坂は次第に急を加へる、驟の太陽は露を含んだ青葉の翠緑が…

目に沁みる　鶯の鳴き聲が彼方の數かげから聞えて來るが、立ち上つて又腰を下して…

陸軍精鋭・氷雪の峻嶮を攀ぢ アリューシャン列島の攻略

陸軍部隊アリューシャン進撃畫報

寫眞（右上）海岸の嶮崖をよぢ登るわが陸軍部隊の精鋭（右下）大雪原をゆく陸軍部隊（左上）機關銃も橇に乘せて進撃（左下）懸崖に橋をかけて苦心の進撃―吉良陸軍報道班員撮影―陸軍省提供

三國志（赤壁の巻）【838】

吉川英治（作）　矢野橋村（畫）

草を刈る（一）

百計も盡きたときに、苦悩の果てが一計を生む。人生、いつの場合も同じである。

張飛は、一策を案出した。

『集まれ』

七、八百の兵をならべて命じた。

『貴様たちは、これから鎌を持つて山路を尋ね、馬糧の草を刈つて來い。なるべく巴城の裏山に面した所の奥深い山の草を刈つて參れ』

鎌を携へた草刈部隊は、各々城の裏山へ分け入つた。

次の日も、次の日も、草刈隊はさかんに草を本隊へ運んだ。城中の厳顔は、これを知つて、

『はて、張飛のやつ、何のつもりで、遽に山の草を刈り出したのか？』

いかに城外から挑んでも、城を閉ぢて、相手にしなかつたので、張飛もこの城へ手を下しやうがなく、先頃から快々として、作戰に窮してゐた状はよく窺はれたが、急に攻口の活動も怠つて、山路に兵を入れてゐるのは、何の爲か、厳顔にも察しがつかなかつた。

『鎌を持て。そして、城の搦手に集まれ』

厳顔は、十名の物見を選んで、かう言ひつけた。

密偵の者は、鎌を携へて、夕方搦手門に集まつた。厳顔が出て來てかう密命をくだした。

『夜のうちに、裏山へ入りこみ、夜明けとなつて、張飛の兵がやつて來たら、巧に、彼の草刈隊に紛れこみ、終日、草を刈つて馬に積んだら、そのまゝ張飛の兵になりすまして、敵の本陣へついて行け。そして、彼等が何の爲に働いてゐるか探り知つたら、早速、脱け出してその眞相を城へ告げい。早く正しい報告を持つて來たものの暇に恩賞を與へるであらう』

草刈兵になりすました厳顔の密偵たちは、心得て、各々夜のうちに山へかくれてゐた。

翌日の夕方。

例のとほり張飛の兵は、馬に草を積んでぞろぞろ本陣へ歸つて行つたが、そのうちの組頭が、張飛の顔を見ると云つた。

『大將。決して、勞を惜しむわけではありませんが、雒城へ通るには、何もあんな道なき所を伐り拓かなくても、べつに、巴城の搦手の下から巴郡の西へ出る道がありました。なぜ、あの間道をおすすみにならないのですか』

すると、張飛は、初めて知つたやうに、眼をみはつて、

『何、何。そんな間道があつたのか。馬鹿野郎ッ。そのやうな道のあることを存じながら、なぜ今日まで默つてゐたのだ』

張飛の大喝は、獅子の吼えるやうに、草刈兵ばかりでなく、全軍を震へあがらせた。

『猶豫はならん。すぐ出發の準備をしろ。こゝの一城などは打捨てて、一路雒城へ通らんことこそ、おれの望みだ。兵糧を炊け、輜重を備へろ』

にはかの軍令に、張飛の陣は一時大混雜を呈した。

二更、兵糧をつかふ。

三更、兵馬の隊伍成る。

四更、月光を見ながら、人は枚を銜み、馬は鈴を收め、降る露を浴びながら、粛々と山の隠し道へすゝんでゆく。

厳顔の廻し者は、かくと知るや、宵の闇に、こゝを脱出して、城中へ前後して走り歸つた。

一番に戻つて來た者も、二番に歸つて來た者の言葉も、次々の者のいふ報告も、すべて一致してゐたので、

『さてこそ』

と、厳顔は手を打つて云つた。

『あくまで、城方が出て戰はぬに氣を惱まし、遂に、こゝを避けて、間道より雒城へ押通らん彼の所存とみゆる。――愚や、愚や張飛。それこそわが望むところ』

厳顔もまた城中の勢を悉く手分けして、勝手を知る間道の要所要所に、兵を伏せて待つてゐた。

おそらくは張飛の先鋒、中軍が山を越える頃、輜重兵糧の車馬はなほ遅れて遠く後陣にあらう。その機、合圖の鼓とともに、いちどに殺出して、敵軍を寸斷せよ。個々撃滅して、みなごろしにすべし。

――と厳顔は味方の部將につたへてゐた。

やがて、木々のしげる間を、黒々と敵の先鋒、中軍は通つて行つた。まぎれもない張飛の姿も見えた。それをやりすごして、輜重部隊の影を見た頃、

『今ぞ』

と、厳顔は、合圖の鼓を高らかに打たせた。

新刊紹介

▲漱石・人とその文學（松岡讓著）近代日本が生んだ偉大な精神的文學者漱石、その清冽な生涯と魂を清める數々の偉大な業績を良心的に著述せるもの（一円八十錢、東京・小石川・小日向臺一ノ四一、潮文閣）

▲宣撫工作（山崎海弘著）宣撫工作の成不成は國民政府の運命を左右するものであり支那の運命を決するものである。本書は宣撫工作に挺身した著者の血肉を以て描ける建設手記である（一円二十錢、東京麹町・飯田町二丁目、愛之事業社）

▲東洋之光（六月號）本號は徴兵制實施記念號で、青年學生の感激女學生に徴兵を聞く會『朝鮮同胞の榮譽と使命』朴熙道『徴兵實施を前に』八木信雄『戰時下の愛情問題』辛島驍、小説『少年の日に』田中英光外讀みものが多い（四十錢、京城・明治町二丁目八八、東洋之光社）

▲朗（六月號）商店を住居に改造する案、和風と洋風を調和した住宅其他（七十錢、東京・四谷・新宿二丁目、日本電建會社出版部）▲農業と經濟（六月號）▲愛育（六月號）▲財界（六月號）▲新演の友（百九十七號）▲愛之日本（七月號）▲興亞（六月號）